

# 第5期 きらっとあさひプランってなあに？

旭区地域福祉保健計画の愛称です。  
身近なまちに知り合いが増え、  
安心して自分らしく暮らせるまちにするための計画です。

旭区役所、旭区社会福祉協議会、地域ケアプラザが  
地域の皆さんとともに取り組みます。



## 基本理念

地域で支えあい 安心して自分らしく暮らせるまち 旭区をつくろう

### 1 日常的なつながりを通じた地域づくり



お互いの理解を深め、さりげない見守りや日常の交流を通じたゆるやかにつながる地域を目指します。

### 2 困ったときでも安心して暮らせる体制づくり



どこに相談をしても必要な支援につながる体制をつくります。課題解決に向けて様々な人や団体で話し合います。

### 3 地域参加のための環境づくり



誰もが気軽に地域と関わって、企業や法人なども活躍でき、既存の活動も続けやすい、環境づくりを進めます。

## 地区別 計画

地区ごとの課題  
に対する取組

## 区全域 計画

区全域に共通する課題  
に対する取組  
地区別計画を  
支える取組

きらっとあさひプランを  
みんなで話し合い、確認しながら  
取組を進めることが大切なんだね！



旭区 マスコットキャラクター  
あさひくん

一つひとつの取組が  
「安心して自分らしく暮らせるまち」  
につながっているよ♪



きらっとあさひプラン  
マスコットキャラクター  
あさちゃん  
きらっとあさひプランの  
詳細はこちら



# 旭中央地区

今川町  
四季美台

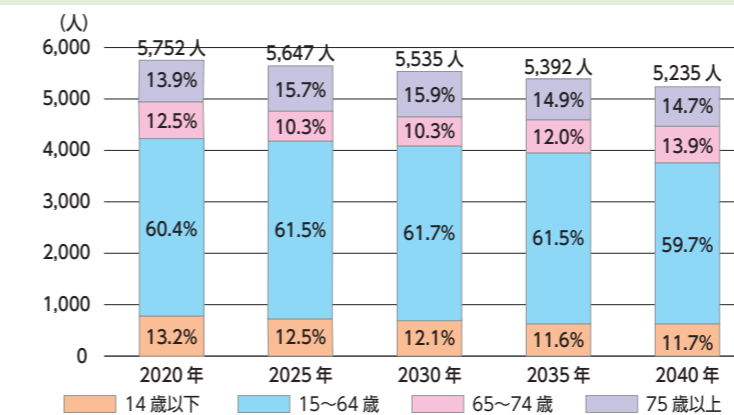
## あなたのまちは、どんなまち？



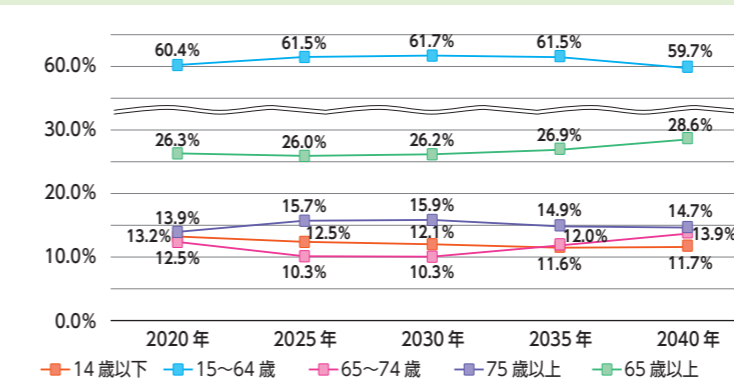
旭中央地区は、北西から流れ込む帷子川と南西からの二俣川の合流地点の西側丘陵を主体にした地域です。市街化調整区域を含みますが、幹線道路に囲まれた地区となっています。地区内に小中学校がないなど、活動場所が少ない中、地域ケアプラザ等の協力を得て、工夫しながら様々な活動をしています。

## 今後の人口の変化予想

◆年齢別 積み上げ棒グラフ



◆年齢別 折れ線グラフ



出典 横浜市日常生活圏域等別データ  
小数点第2位を四捨五入した数値のため、合計が一致しないことがあります。



2025年の人口は約5,600人で、  
今後はゆるやかな減少傾向で推移  
すると見込まれます。  
2030年には、14歳以下は12.1%、  
65歳以上は26.2%となる見込み  
です。

目指す  
まちの姿

## 旭中央地区

# こころの見えるまちづくり

- さまざまな世代が地域活動に参加するきっかけをつくる
- これまでの活動をよりよくして継続していく

### これまでの取組

コロナ禍で途切れた活動やつながりが少なくなかったが、その中でも、実施方法を一部変更するなど、工夫をして続けることができた活動もあった。また、顔を合わせる機会が減ったことで、久しぶりに再会できた喜びは大きく、人と人とのつながりをより一層感じることができた。

### 目標と主な取組

#### 目標 A 人と人とのつながりを大切に

- ▶ 様々な世代との交流を積極的に行う
- ▶ サロンやイベント等をさらによくして継続させていく
- ▶ 地域の活動を周知し、つながりのきっかけを作る
- ▶ 顔を合わせる機会を通じて、自然と声をかけあえる関係になる



三世代美サイクル



高齢者懇親会



#### 目標 B 地域の未来を担う人材発掘・育成

- ▶ ジュニアボランティアなど、地域の活動者や住民とふれあうプログラムを取り入れることで、子どもたちへ「わがまち」の意識をはぐくむ
- ▶ 子育てサロンかみふうせん、三世代美サイクル等の若い住民層が参加しやすい行事で、子どもやその親世代が主体となれる時間を設け、地域への愛着を醸成していく
- ▶ イベント等を通じて地域の活動に関わるきっかけをつくり、未来を担う人材を発掘していく



ジュニア  
ボランティア



つぶらの会



#### 地域活動・行事・取組などの紹介

- つぶらの会
- 高齢者懇親会
- 三世代美サイクル
- かみふうせん
- 移動販売
- 地域広報誌(社協だより)の作成

#### 推進体制

地区社会福祉協議会、自治会・町内会、民生委員児童委員協議会、保健活動推進員、老人クラブ、友愛活動推進員、青少年指導員、ボランティアグループ、保護司、スポーツ推進委員